



環境経済委員会報告



2015 年 6 月議会

第 124 号議案

2015 年度一般会計補正予算(第 2 号)

2015 年度一般会計補正予算額 7 億 145 万円のうち、環境経済委員会所管部分について審議し、意見・要望を付して可決しました。主な内容をご報告します。

☆ブリックホール整備事業費 2,480 万円

公会堂の廃止により、ブリックホールの利用者が増加。利用者のニーズに合わせて、ブリックホールのトイレや床等の改修をするための予算です。

しかし公会堂の廃止により利用者が増加するのは分かっていことであり、もっと早く手を着けるべきです。また公会堂廃止後、稼働率が 21%も上昇しており、市民の予約が優先されているにもかかわらず、予約が取れなかったり、日程の変更を余儀なくされたりという事態がおこっています。また公会堂廃止の条件だった、代替施設を県庁跡地につくるという話も、全く目途が立っていません。このままでは市民の文化活動にも、長崎市が増やしたいコンベンション誘致にも支障が出ます。

県庁舎跡地での代替施設建設を県に強く働きかけることを求める意見や、公会堂の再開と存続を求める意見が出ました。



☆稲佐山山頂ライトアップ事業費 5,000 万円



夜景の魅力向上と宿泊型観光の推進のために、長崎のランドマークの稲佐山山頂電波塔 3 基をライトアップする予算です

昨年の国体の時、民間団体が行ったライトアップは予算の都合もあり市民の評判がいま一つだったそうです。これだけの予算をかけるからには、品のいいものを、またランタンフェスティバルに間に合うよう事業を進めてほしいという意見が出ました。

☆太陽光発電設備整備費 7,427 万円

長崎市は地域防災拠点施設となる公共施設に、災害時の電力遮断に備え、太陽光発電施設を2か年計画で導入することになっています。今年度計画していた、式見・土井首・茂木・深堀支所の4カ所に加え、三和公民館と福田中学校へも導入するための補正です。



☆企業立地奨励補助 5,320 万円

長崎テクノヒル茂木(長崎南商業高校跡地)に、リサーチセンターを進出させたカネミツ株式会社が第2期として長崎工場建設を計画しています。この工場に対する施設等整備奨励金と土地等賃貸借奨励金、雇用奨励金を合わせての予算です。プーリと呼ばれる自動車の滑車を製造している企業で、商工部は将来性のある優良企業と説明します。

委員会では、雇用の規模や待遇、撤退した場合の奨励金の返還について議論されました。

第125号議案

2015年度観光施設事業特別会計補正予算(第1号)

グラバー園内の旧三菱第2ドックハウスの耐震補強工事と、旧スチール記念学校の耐震診断のための補正2,140万円です。

ドックハウスは耐震補強工事の過程で明らかになった、雨漏りや白蟻による被害等の改修工事費です。ドックハウスは、あちらこちらに腐食や蟻道が見られるほど劣化が進み、またかつてのずさんな工事も明らかになりました。

予算を認めることに異議はないものの、ここまでメンテナンスを行わず放置していたこと、さらに旧グラバー住宅の耐震工事は未着手ということが問題です。

世界遺産登録によって、これから観光客が押し寄せようとしている時に、閉館して改修するなど、計画性がなさすぎます。駅舎の耐震工事によるロープウェー休業も同じです。機を逃さない観光政策が求められます。



猛暑日が続いています。本格的な夏の到来です。

どうぞ皆様ご自愛くださいますように。

